

青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559
<https://www.welcom-aozora.com/>
令和7年 1月 21日発行 第63号



理事長挨拶



井端 隆博

松の内の賑わいも過ぎ、ようやく平生の暮らしが戻ってまいりました。1年で最も寒い時期となりましたが皆様、お健やかに過ごしてでしょうか。

皆様にはウェルコミュニティ飛騨青空作業所の活動に対し御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年2024年は法定雇用率(企業が一定の割合上の障がい者雇用を行う制度)が引き上げられ、民間企業では2.5%(対象となる事業主の範囲は従業員40人以上)になりました。2026年には2.7%(対象となる事業主の範囲は従業員37.5人以上)に引き上げられます。法定雇用率の上昇から、障害者求人はこれまで以上に増えてくると考えられます。職員一同気持ちも新たに、障がいのある方々の「はたらく」を支え、法人モットーでもある「一人ひとりを人生の主役に」を実現できるよう希望をもって日々の業務に取り組んで参ります。

改めて、2025年は「乙巳(きのとみ)の年です。「乙」は十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。「巳」は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされております。また、ゆっくりとしなやかに、曲線を描きながら動くさまから、変化する環境に柔軟に対応する力を象徴していると言われます。乙と巳には、しなやかさや柔軟性、そして成長がキーワードになっていると思います。物事を柔軟に考え、周囲の仲間と協力して更なる成長につなげていく年にしたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。





就労移行支援事業



あけましておめでとうございます。2025年は乙巳（きのとみ）の年ということで努力が実る年。多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高いという記事を読みました。成長の速度は人それぞれです。すぐに結果が出なくてもコツコツと努力を重ねることが大切です。挑戦や努力を続けることで、大きな成長を遂げ、最終的には望む結果に近づくと信じています。皆さんが望む結果にたどり着けるよう、今年も支援させていただきます。そして私たち職員も成長できるよう毎日目標を持って取り組みたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

そこで早速、それぞれ今年一年の目標を考えました。今年の漢字を一文字決め、仕事面・プライベートの面で頑張りたいことを書いてもらいました。↓↓↓

健



4月から新しい訓練が始まります

体調に気を付けながら、新しい場所でも頑張りたいです。そして卒業できるようにしたいです。

就



焦らずに就職を目指す。
就職したら1人で東京に行きたい。

進



仕事に就くことを目指す。

叶



早く就職したい。
車を買って替えたい。
痛車が欲しい。
アニメの聖地巡礼がしたい。

向

仕事では、スキル向上を目指していけるように、毎日コツコツと取り組み、時には工夫して行えるようにしたいです。
私生活では、ひとり暮らしに向けて家事を一つでも多くできるようにしたいです。

決

物事を早く決められるようにしたい。
就職が決まるように頑張りたい。



就労継続支援 B 型事業

【成人のお祝い】

祝！成人 おめでとうございます！

～今年成人を迎えた方に
決意表明をしていただきました！～

「施設外訓練がんばります！！」
「いろいろな作業に挑戦したいです！」
A.H



記念品贈呈

目標に向かって一步一步前進する
姿を楽しみにしています！

【11月：レクリエーション】

クイズ大会優勝者には豪華景品！

ソーラン節を踊って体を動かしました！
大きな声を出して心も体もリフレッシュできました！



ソーラン節で大盛り上がり！



【12月：クリスマス会】

ビンゴ大会、ボードゲーム、カードゲームをして楽しみました。

クリスマスケーキ！！



◆今後のバザー出店予定◆

2月 2日（日） 日本ハンドボールリーグ（ブラックブルズ vs ブルーサクヤ鹿児島）
〈飛騨高山ビックアリーナ〉 12：00～



ハンドボールの試合会場で出店させていただきます！ブルズとのコラボ商品も販売する予定です。

2月21日（金） 福祉のお店〈高山市役所 1階ロビー〉 11：30～13：30

3月 2日（日） 国府子どもフェスタ〈国府交流センター〉



東京編

シドニーパラリンピック

柏木 真司

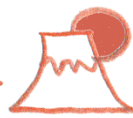
前回、本部での仕事は辛いことが多かったと書きましたが、実は楽しい思い出もあります。それはオーストラリアへ障がい者雇用の視察に行ったことです。私は飛行機が苦手なことから、それまで何度も海外の視察の話を断ってきました。しかしどうしても断り切れない状況となり、覚悟を決めて行かせていただくこととなりました。

いろいろとトラブルもありましたが、視察を無事終えることができ、その時ちょうど開催されていたシドニーパラリンピックの車いすバスケットの日本代表チームの試合を観る機会に恵まれました。

車いすバスケット自体初めて観たのですが、オリンピックの舞台ということもあり、感動の連続でした。とにかく迫力が凄かったことを覚えています。車いす同士がぶつかり合う音やその動きの速さが想像以上でした。そして障がい者スポーツと一般のスポーツは単純に比較できません。一流のプロバスケット選手が車いすに乗っても車いすバスケット選手と同じ動きは到底できないのです。

障がいがあることにより、制限があるのも事実ですが、障がいがあることにより一般の人にはない力を発揮できるということを車いすバスケットを観て感じました。

【第13回終わり】



編集後記

私の年始の楽しみは箱根駅伝です。今年も様々なドラマが展開され、感動と興奮の二日間でした。その中で総合優勝した青山学院大学の原監督の奥様が選手に胴上げされた場面には少々驚きました。

原監督は、世間から批判をうけることを覚悟のうえで行ったと話されました。その理由は、これまで駅伝優勝のために陰で支えてくれた妻に感謝の気持ちを伝えたかったからです。併せて陰で頑張っている人を表舞台上で称賛する社会を作りたいとの思いで行ったとの話に感動しました。

社会が多様化していくなかで新たな価値観が生まれ、これまでの習慣や考え方と衝突することはやむを得ないことです。大切なことは、SNSなどで拡散する世間の声に惑わされることなく、自分自身がしっかりとした価値観をもって判断し行動することであると思います。

柏木

